

高校生のためのライフプランニング教育プログラムの開発事業について

1 趣旨

高校生のためのライフプランニング教育プログラムの開発事業（文部科学省委託事業）において、就職のみならず結婚、出産、育児などのライフイベントをも踏まえた生活の中で、男女ともに多様な選択ができるように、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら高校生が自ら主体的に判断し、主体的に考え意思決定できる能力と態度を育成する教育プログラムを作成する。

2 内容

- (1) 新学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学びの視点及びキャリア教育の視点を踏まえた、自己の在り方・生き方と実社会とのつながりを意識した教育プログラムを開発し、モデル校において試行・検証する。
- (2) 開発したプログラムを県内の高等学校に普及する。

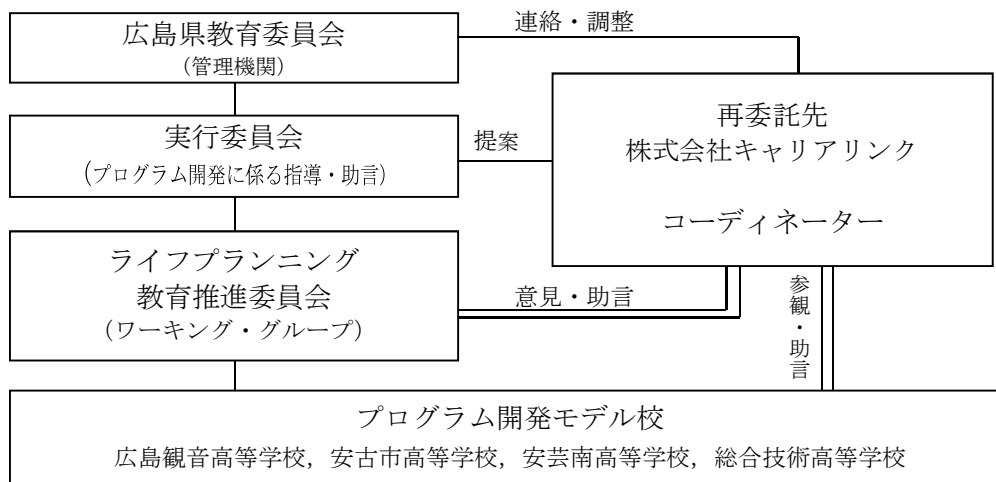
3 期待される成果

本プログラムにより、高校生が卒業後、広島県男女共同参画基本計画（第4次）における人づくりの重点項目である「性別に関わりなく誰もが能力を十分に発揮することのできる男女共同参画について、理解が深まり行動に表れている」状況の実現を図る。

（測定する指標）

事前・事後アンケートによる生徒の意識の変容，ワークシート等による生徒の意識の変容，ワークシート等による将来の展望等の記述による定性的な分析を行う。

4 組織



5 事業計画等

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実行委員会会議							★	★			★
ワーキング・グループ会議							☆	☆		☆	
モデル校試行授業・アンケート									◆		
教材作成・修正							→			→	
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実行委員会会議				★						★	
ワーキング・グループ会議					☆					☆	
モデル校試行授業・アンケート								◆	→		◆

高校生のためのライフプランニング教育プログラム事業実行委員一覧

(敬称略50音順)

氏名	所属	職名
加藤浩司	広島県立生涯学習センター	所 長
佐藤文昭	広島県環境県民局人権男女共同参画課	課 長
白河桃子	昭和女子大学	客員教授
竹志幸洋	広島県教育委員会事務局学びの变革推進部 高校教育指導課	課 長
夏秋裕子	サントリー酒類株式会社中国・四国支社広域営業部	営業推進担当部長
山田直人	広島県立総合技術高等学校	校 長
若江眞紀	株式会社キャリアリンク	代表取締役

わたしの**未来**の拓き方

令和2年度 文部科学省委託事業
次世代のライフプランニング教育推進事業

広島県教育委員会

項目	内容	設問項目	
① プログラム 全般 (ポスト)	授業への興味・関心	授業には興味をもって取り組みましたか。	定量 4段階
	思考活動の取り組みやすさ	ワークは取り組みやすかったですか。	定量 4段階
	ワークシートの難易度	ワークシートに書いてある内容は分かりやすかったですか。	定量 4段階
	プログラムの有効性	「わたしの未来の拓き方」の授業は、自身のライフプランを考えるきっかけになりましたか。	定量 4段階
② 知識の習得 (ポスト)	ライフプランの多様性	世の中には、おかれている立場や個人の価値観や考えにより、多様なライフプランがあることが分かりましたか。	定量 4段階
	ライフプランを支える 仕組みや制度	ライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることが分かりましたか。	定量 4段階
	他者の個性を 理解する力	教材に出てくる多様な個人の考え方や価値観をもとに、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができましたか。	定量 4段階
	固定的役割分担意識の解消 (男女共同参画視点)	男女が共に仕事と家庭、地域における活動に参画し活躍できるような社会を実現するために大切なことは何だと思えますか。	定性 自由 記述
③ 思考力・ 判断力・ 表現力の発揮 (ポスト)	課題を解決しようとする 主体性	課題解決をする話し合いの中で、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができましたか。	定量 4段階
	情報活用能力	ライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができましたか。	定量 4段階
④ 意識変容 (プレ・ポスト)	自身のライフプランニング についての意識変容	<p>【プレ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプランとは何か説明できる。 2. 自身のライフプランについて考えたことがある。 3. 今まで自分のライフプランについて人に話をしたことがある。 4. ライフプランを実現させるための仕組みや制度について調べたことがある。 5. 男性と女性の役割について考えたことがある。 6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。 <p>【ポスト】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプランとは何か説明できる。 2. 自身のライフプランについて考えていこうと思った。 3. 自分のライフプランについて、今後人に話をしていきたいと思った。 4. 自身のライフプランニングを実現させるための仕組みや制度について調べてみたいと思った。 5. 男性と女性の役割について、今後考えてみようと思った。 6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。 	定量 4段階

■ 授業前・授業後の生徒アンケート総括

- ・本プログラムは、**90%の生徒にとって、授業への興味関心を高め、取り組みやすいワークや分かりやすいワークシートになっており、自身のライフプランを考えるきっかけとなった。**
- ・95%以上の生徒が、本プログラムを通して、ライフプランやライフプランニングに関する知識を得ることができた。
- ・アンケートやワークシートの記述内容から、**生徒の「固定的役割分担意識の解消」を促進したと言える。**
- ・93%の生徒が、本プログラムを実施する際に、**課題を解決しようとする主体性や情報活用能力を発揮することができた。**
- ・本プログラムを通して、多くの生徒に意識変容があった。

■ 授業前・授業後の生徒アンケート結果（全体 事前：n=924 事後：n=926）

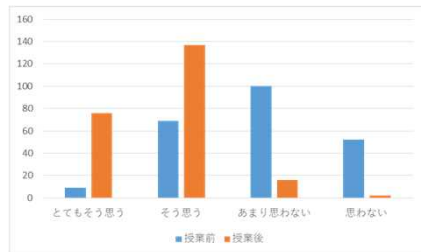
項目	内容	結果の概要
① プログラム 全般 (ポスト)	授業への興味・関心	94.0% の生徒が、興味をもって取り組めたと答えた。
	思考活動の取り組みやすさ	86.1% の生徒が、ワークは取り組みやすかったと答えた。
	ワークシートの難易度	87.1% の生徒が、ワークシートが分かりやすかったと答えた。
	プログラムの有効性	93.0% の生徒が、自身のライフプランを考えるきっかけになったと答えた。
② 知識の習得 (ポスト)	ライフプランの多様性	98.3% の生徒が、多様なライフプランがあることが分かったと答えた。
	ライフプランを支える仕組みや制度	95.5% の生徒が、様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることが分かったと答えた。
	他者の個性を理解する力	93.3% の生徒が、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができたと答えた。
	固定的役割分担意識の解消 (男女共同参画視点)	記述内容（アンケート及びワークシート等）から、固定的役割分担意識の解消に対して意識が向上した。
③ 思考力・ 判断力・ 表現力の発揮 (ポスト)	課題を解決しようとする 主体性	88.5% の生徒が、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができたと答えた。
	情報活用能力	97.4% の生徒が、必要な制度や仕組みについて考えることができたと答えた。
④ 意識変容 (プレ・ポスト)	自身のライフプランニング についての意識変容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフプランとは何か説明できるようになった生徒は、32.8%から91.1%（58.3ポイント向上）になった。 ・自身のライフプランについて、考えていこうと思った生徒は、52.3%から96.3%（44ポイント向上）になった。 ・自分のライフプランについて、今後人に話をしていきたいと思った生徒は、31.3%から73.6%（42.3ポイント向上）になった。 ・自身のライフプランニングを実現させるための仕組みや制度について調べてみたいと思った生徒は、19.3%から86.8%（67.5ポイント向上）になった。 ・男性と女性の役割について、考えてみようと思った生徒は、46.0%から90.8%（44.8ポイント向上）になった。 ・進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う生徒は、64.9%から75.9%（11ポイント向上）になった。

A 高等学校

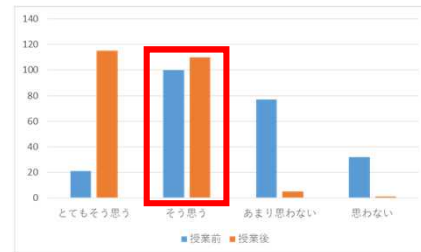
実施学年：1年（6クラス） 実施教科：産業社会と人間
実施日：令和2年12月8日（火）～12月15日（火）

■ 授業前・授業後の生徒アンケート結果と考察（概略） ※事前n=230 事後n=231

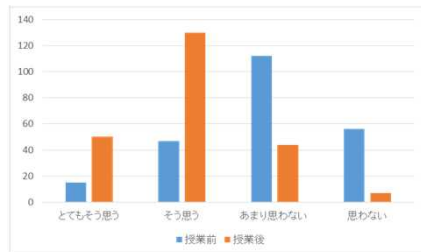
1. ライフプランとは何か説明できる。



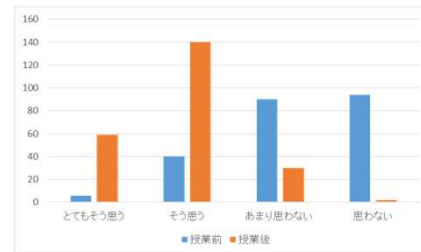
2. 自分のライフプランについて考えたことがある。



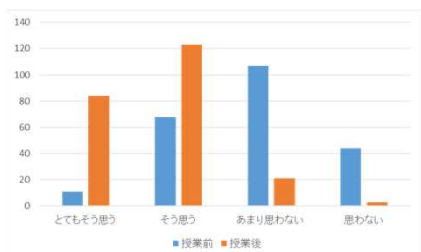
3. 今まで自分のライフプランについて人に話をしたことがある。



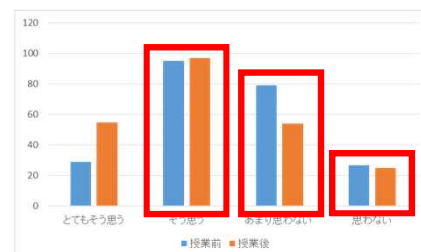
4. ライフプランを実現させるための仕組みや制度について調べたことがある。



5. 男性と女性の役割について考えたことがある。



6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。



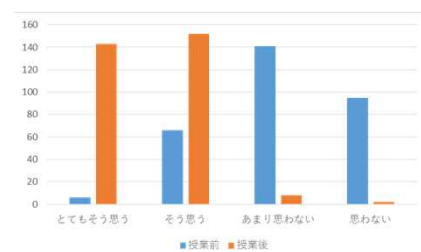
授業前後のアンケート結果は、多くの設問で有意差が見られたが、2. 「そう思う」及び6. 「そう思う」「あまり思わない」「思わない」では有意差が見られなかった。しかし、2. については、上下の項目で有意差が見られたことから、下位項目からの移動が生じて有意差が出なかったものの、設問2. 全体で考えると授業前後で明らかな変容が見られる。（グラフ参照）

B 高等学校

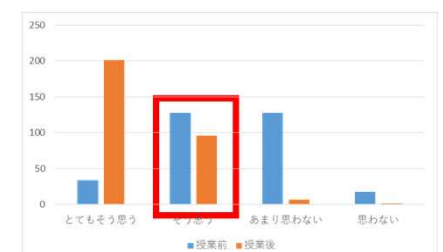
実施学年：1年（8クラス） 実施教科：家庭科
実施日：令和2年11月10日（火）～12月16日（水）

■ 授業前・授業後の生徒アンケート結果と考察（概略） ※事前n=308 事後n=305

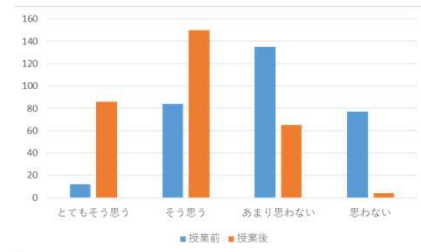
1. ライフプランとは何か説明できる。



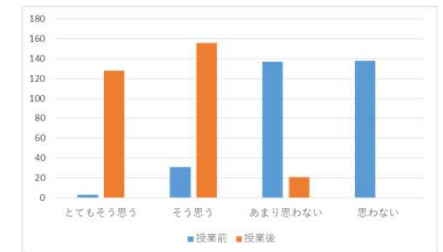
2. 自分のライフプランについて考えたことがある。



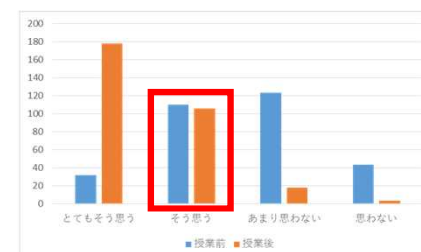
3. 今まで自分のライフプランについて人に話をしたことがある。



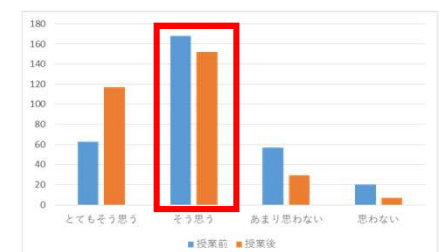
4. ライフプランを実現させるための仕組みや制度について調べたことがある。



5. 男性と女性の役割について考えたことがある。



6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。



授業前後のアンケート結果は、多くの設問項目で有意差が見られたが、2., 5. 及び6. の「そう思う」（グラフ赤枠）の項目で有意差が見られなかった。しかし、有意差が見られなかった項目については、その上下の項目で有意差が見られていることから、下位項目からの移動が生じており、各設問の全体で考えると、授業前後で明らかに変容が起きていると言える。（グラフ参照）

C 高等学校

実施学年：1年（5クラス） 実施教科：総合的な探究の時間
実施日：令和2年12月10日（木）～令和3年1月14日（木）

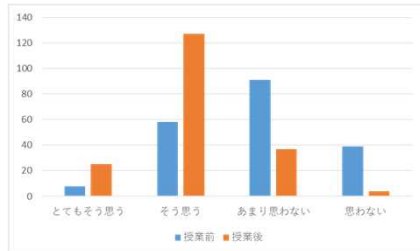
D 高等学校

実施学年：1年（6クラス） 実施教科：家庭科
実施日：令和2年12月9日（水）～12月21日（月）

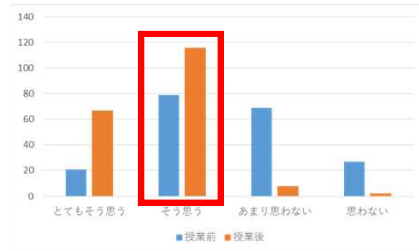
■ 授業前・授業後の生徒アンケート結果と考察（概略） ※事前n=196 事後n=193

■ 授業前・授業後の生徒アンケート結果と考察（概略） ※事前n=192 事後n=195

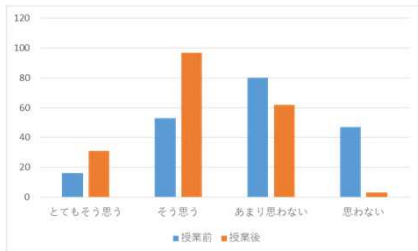
1. ライフプランとは何か説明できる。



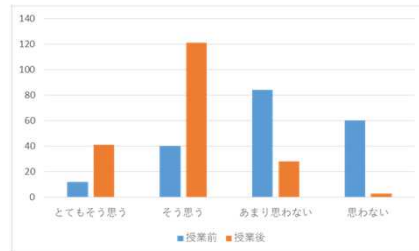
2. 自分のライフプランについて考えたことがある。



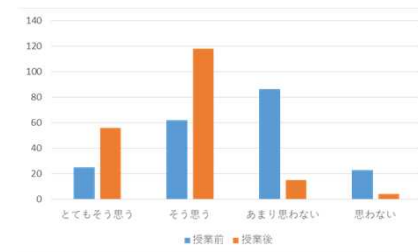
3. 今まで自分のライフプランについて人に話をしたことがある。



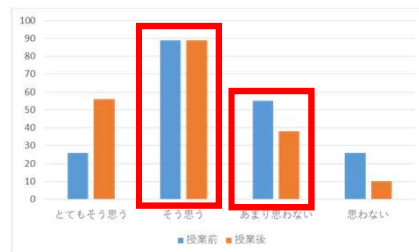
4. ライフプランを実現させるための仕組みや制度について調べたことがある。



5. 男性と女性の役割について考えたことがある。

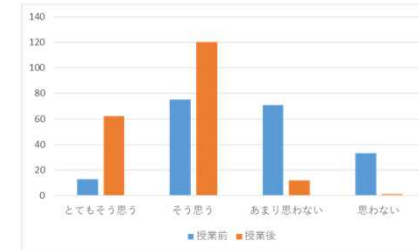


6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。

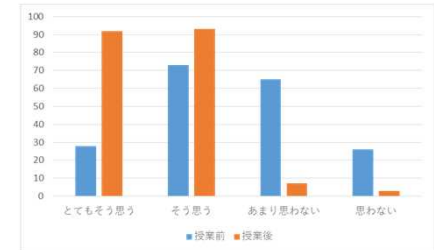


授業前後のアンケート結果は、2. 「そう思う」、6. 「そう思う」「思わない」（グラフ赤枠）で有意差が見られなかった。しかし、2. については上下項目で有意差が見られることから、下位項目からの移動が生じており、設問全体で考えると、授業前後の変容は明らかであると考えられる。（グラフ参照）

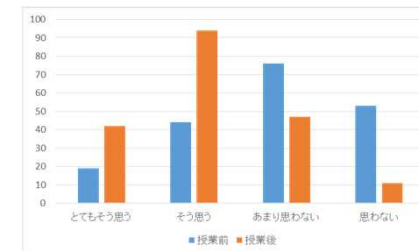
1. ライフプランとは何か説明できる。



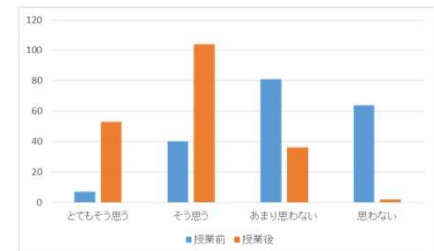
2. 自分のライフプランについて考えたことがある。



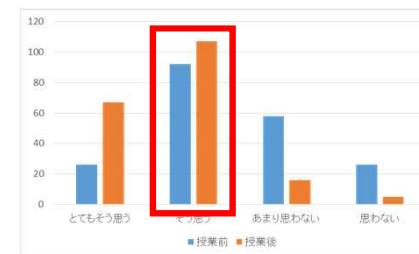
3. 今まで自分のライフプランについて人に話をしたことがある。



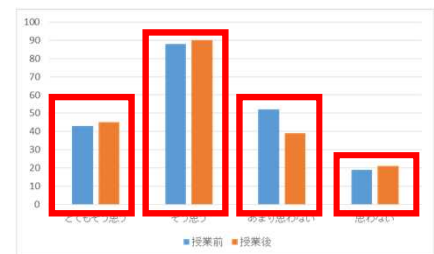
4. ライフプランを実現させるための仕組みや制度について調べたことがある。



5. 男性と女性の役割について考えたことがある。

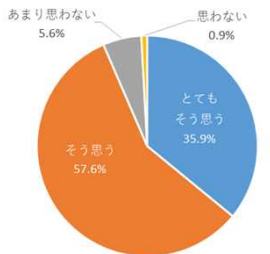
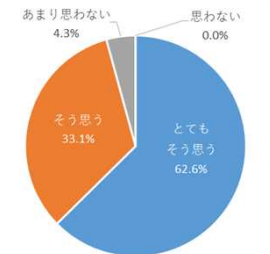
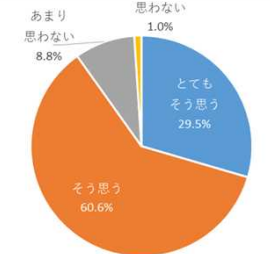
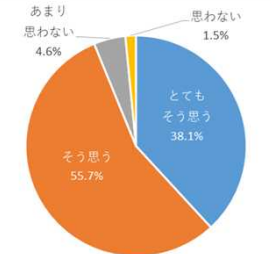

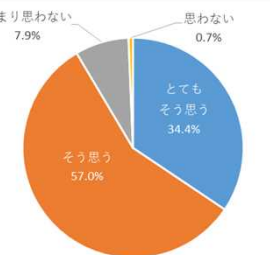
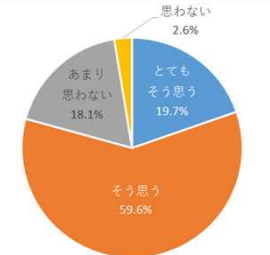
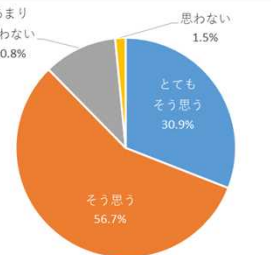

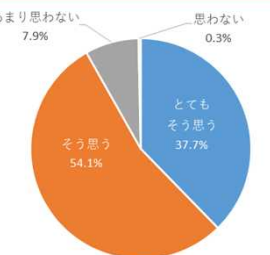
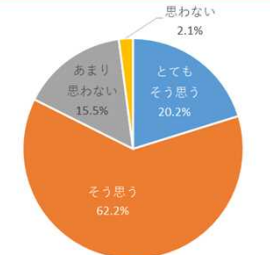
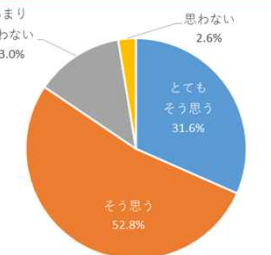


6. 進学や就職や結婚について、男性・女性の期待される役割が暗黙のうちに決められていると思う。



授業前後のアンケート結果は、多くの設問で有意差が見られたが、5. 「そう思う」及び6. 全項目（グラフ赤枠）で有意差が見られなかった。しかし、5. については、上下項目で有意差があったことから、下位項目からの移動が生じて有意差が出なかったものの、設問5. 全体で考えると授業前後で明らかな変容が見られる。（グラフ参照）

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

A 高等学校 n=231	B 高等学校 n=305	C 高等学校 n=193	D 高等学校 n=195
7. 授業には興味をもって取り組みましたか。			
 <p>93.5%の生徒が、興味をもって取り組めた。</p>	 <p>98.7%の生徒が、興味をもって取り組めた。</p>	 <p>90.1%の生徒が、興味をもって取り組めた。</p>	 <p>93.5%の生徒が、興味をもって取り組めた。</p>
8. ワークは取り組みやすかったですか。			
 <p>86.2%の生徒が、取り組みやすかった。</p>	 <p>91.4%の生徒が、取り組みやすかった。</p>	 <p>79.3%の生徒が、取り組みやすかった。</p>	 <p>87.6%の生徒が、取り組みやすかった。</p>
9. ワークシートに書いてある内容は分かりやすかったですか。			
 <p>89.6%の生徒が、分かりやすかった。</p>	 <p>91.8%の生徒が、分かりやすかった。</p>	 <p>82.4%の生徒が、分かりやすかった。</p>	 <p>84.4%の生徒が、分かりやすかった。</p>

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

A 高等学校 n=231	B 高等学校 n=305	C 高等学校 n=193	D 高等学校 n=195
--------------	--------------	--------------	--------------

10. 「わたしの未来の拓き方」の授業は、自身のライフプランを考えるきっかけになりましたか。

<p>92.2%の生徒が、きっかけになった。</p>	<p>97.4%の生徒が、きっかけになった。</p>	<p>89.7%の生徒が、きっかけになった。</p>	<p>92.8%の生徒が、きっかけになった。</p>
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

11. 世の中には、おかれている立場や個人の価値観や考えにより、多様なライフプランがあることが分かりましたか。

<p>99.2%の生徒が、多様なライフプランがあることが分かった。</p>	<p>99.3%の生徒が、多様なライフプランがあることが分かった。</p>	<p>96.9%の生徒が、多様なライフプランがあることが分かった。</p>	<p>97.9%の生徒が、多様なライフプランがあることが分かった。</p>
---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

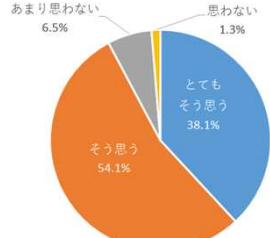
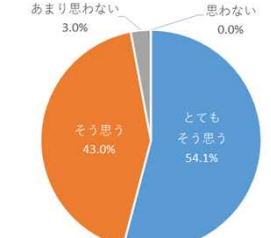
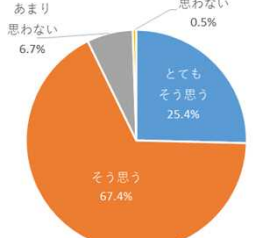
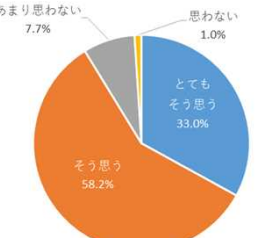
12. ライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることが分かりましたか。

<p>98.7%の生徒が、様々な選択と、支援する仕組みや制度があることが分かった。</p>	<p>99.3%の生徒が、様々な選択と、支援する仕組みや制度があることが分かった。</p>	<p>96.9%の生徒が、様々な選択と、支援する仕組みや制度があることが分かった。</p>	<p>86.9%の生徒が、様々な選択と、支援する仕組みや制度があることが分かった。</p>
---	---	---	---

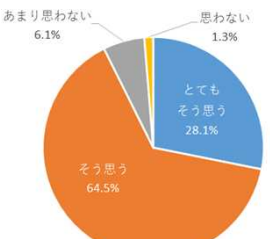
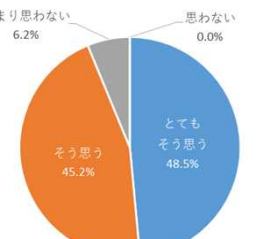
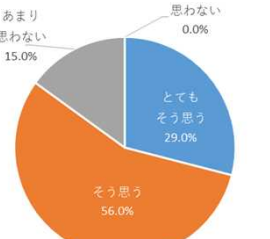
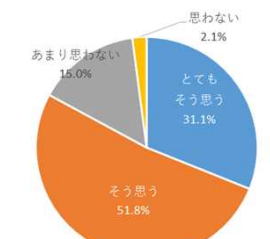
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

A 高等学校 n=231	B 高等学校 n=305	C 高等学校 n=193	D 高等学校 n=195
--------------	--------------	--------------	--------------

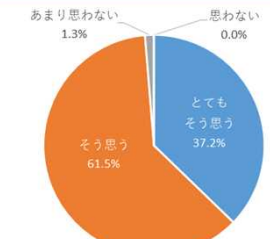
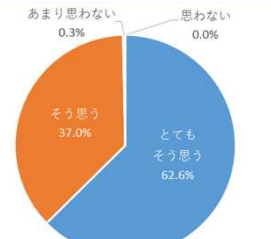
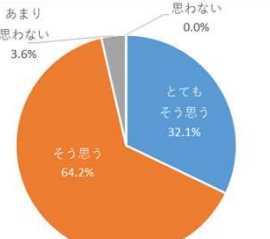
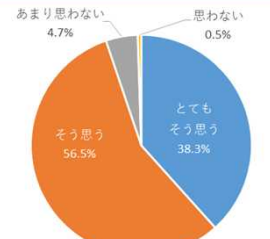
13. 教材に出てくる多様な個人の考え方や価値観をもとに、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができましたか。

 <p>92.2%の生徒が、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができました。</p>	 <p>97.1%の生徒が、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができました。</p>	 <p>92.8%の生徒が、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができました。</p>	 <p>91.2%の生徒が、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができました。</p>
--	---	--	--

15. 課題解決をする話し合いの中で、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができましたか。

 <p>92.6%の生徒が、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができました。</p>	 <p>93.7%の生徒が、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができました。</p>	 <p>85.0%の生徒が、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができました。</p>	 <p>82.9%の生徒が、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができました。</p>
---	--	---	---

16. ライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができましたか。

 <p>98.7%の生徒が、必要な制度や仕組みについて考えることができました。</p>	 <p>99.6%の生徒が、必要な制度や仕組みについて考えることができました。</p>	 <p>96.3%の生徒が、必要な制度や仕組みについて考えることができました。</p>	 <p>94.8%の生徒が、必要な制度や仕組みについて考えることができました。</p>
--	---	--	--

言及項目	A 高等学校 n=231	B 高等学校 n=305	C 高等学校 n=193	D 高等学校 n=195
14. 男女が共に仕事と家庭，地域における活動に参画し活躍できるような社会を実現するために大切なことは何だと思いますか。 <small>※生徒の自由記述の内容から，キーワードを抽出し，分類</small>				
男女の役割	12.8%	43.0%	23.6%	24.4%
平等	5.0%	9.2%	9.0%	11.5%
社会の仕組み，制度	2.9%	4.3%	4.5%	10.5%
固定概念や古い考え方の打破	2.9%	19.0%	5.5%	6.7%
多様性の理解，尊重	17.4%	27.2%	26.6%	15.3%
協力，協働	2.9%	3.6%	9.0%	11.5%

項目	内容	設問項目	評価
① プログラム 全般	授業への興味・関心	生徒は、授業には興味をもって取り組めていましたか。	定量 4段階
	思考活動の 取り組みやすさ	教材は生徒の発達段階に応じた内容ですか。	定量 4段階
	ねらいの到達度	授業のねらいを達成するために有効ですか。	定量 4段階
	プログラムの有効性	本プログラムは、生徒のライフプランを考えるきっかけとして有効ですか。	定量 4段階
② 知識の習得	ライフプランの多様性	生徒は、世の中には、おかれている立場や個人の価値観や考えにより、多様なライフプランがあることを理解していましたか。	定量 4段階
	ライフプランを支える 仕組みや制度	生徒は、ライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることを理解していましたか。	定量 4段階
	他者の個性を理解する力	生徒は、教材に出てくる多様な個人の考え方や価値観をもとに、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができていましたか。	定量 4段階
	固定的役割分担意識の解消 (男女共同参画の視点)	生徒は、男女が共に仕事と家庭、地域における活動に参画し活躍できるような社会の実現に向けて大切な視点をもつことができていましたか。	定量 4段階
③ 思考力・判断 力・表現力の 発揮	課題を解決しようとする 主体性	生徒は、課題解決をする話し合いの中で、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができていましたか。	定量 4段階
	情報活用能力	生徒は、ライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができていましたか。	定量 4段階
④ プログラム 改善点	プログラムの改善点の 抽出	プログラムの改善点を具体的にお聞かせください。 【授業考察・ヒアリングで確認する項目】 ・実施後の感想 ・授業構成・時間配分 ・授業進行上の改善点 ・教材追加、改善部分について ・インタビュー活動及びインタビューシートについて	自由記述 ヒアリング
⑤ プログラム 評価	プログラムの評価	プログラムに関する御意見をお聞かせください。 ※特に、主体的対話的な学び、ライフプランを多角的にとらえる観点	自由記述 ヒアリング

■ 授業後の教員アンケート総括

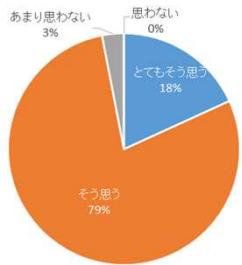
- ・本プログラムは、**90%以上の教員が生徒が興味をもって取り組んでいたと感じ、ねらいを達成するために発達段階に応じた有効な内容と教材であったと評価。**
- ・94%の教員が、生徒が多様なライフプランやその選択や実現を支援するための多様な仕組みや制度について理解していたと回答。
- ・79%の教員が、**本プログラムが男女の固定的役割分担意識の解消に必要な視点や他者の考えや個性を受け入れる力の取得に寄与していたと回答。**
- ・本プログラムを**学校や生徒の実情に合わせた内容にアレンジすることで、より効果的なプログラムとなると評価。**

■ 教員アンケート結果 (n=33)

項目	内容	設問項目
① プログラム 全般	授業への興味・関心	97%の教員が、生徒が興味をもって取り組んでいたと答えた。
	思考活動の 取り組みやすさ	91%の教員が、教材は発達段階に応じた内容であると答えた。
	ねらいの到達度	97%の教員が、授業のねらいを達成するために有効だったと答えた。
	プログラムの有効性	94%の教員が、本プログラムは生徒のライフプランを考えるきっかけとし有効であると答えた。
② 知識の習得	ライフプランの多様性	94%の教員が、生徒は多様なライフプランがあることを理解していたと答えた。
	ライフプランを支える 仕組みや制度	94%の教員が、生徒はライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることを理解していたと答えた。
	他者の個性を理解する力	79%の教員が、生徒は自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができていたと答えた。
	固定的役割分担意識の解消 (男女共同参画の視点)	79%の教員が、生徒は、男女が共に仕事と家庭、地域における活動に参画し活躍できるような社会の実現に向けて大切な視点をもつことができていたと答えた。
③ 思考力・判断力・ 表現力の発揮	課題を解決しようとする 主体性	69%の教員が、生徒が自分の考えを他の人に積極的に伝えることができていたと答えた。
	情報活用能力	94%の教員が、生徒がライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができていたと答えた。
④ プログラム 改善点	プログラムの改善点の 抽出	記述内容は、本報告書P.16参照。 ※抽出された改善点については、改訂提案書参照。
⑤ プログラム 評価	プログラムの評価	記述内容は、本報告書P.16参照。

■教員アンケート結果 n=33 ■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

1. 生徒は、授業には興味をもって取り組めていましたか。



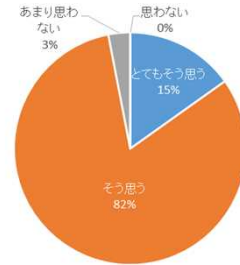
97%の教員が、生徒が興味をもって取り組んでいたと答えた。

2. 教材は生徒の発達段階に応じた内容ですか。



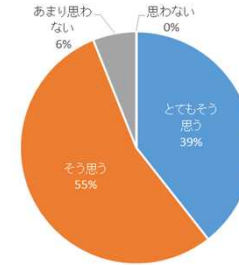
91%の教員が、教材は発達段階に応じた内容であると答えた。

3. 授業のねらいを達成するために有効ですか。



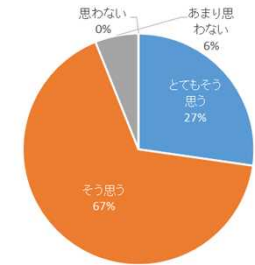
97%の教員が、授業のねらいを達成するために有効だったと答えた。

4. 本プログラムは、生徒のライフプランを考えるきっかけとして有効ですか。



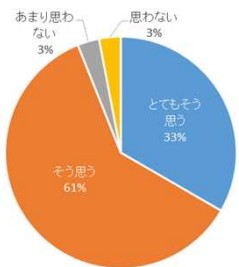
94%の教員が、本プログラムは生徒のライフプランを考えるきっかけとして有効であると答えた。

5. 生徒は、世の中には、おかれてある立場や個人の価値観や考えにより、多様なライフプランがあることを理解していましたか。



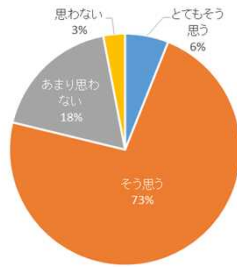
94%の教員が、生徒は多様なライフプランがあることを理解していたと答えた。

6. 生徒は、ライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることを理解していましたか。



94%の教員が、生徒はライフプランに応じた様々な選択と、それを支援する仕組みや制度があることを理解していたと答えた。

7. 生徒は、教材に出てくる多様な個人の考え方や価値観をもとに、自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができていましたか。



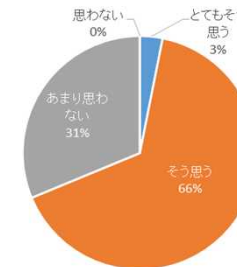
79%の教員が、生徒は自分の意見との違いに気付いたり、考え直したりすることができていたと答えた。

8. 生徒は、男女が共に仕事と家庭、地域における活動に参画し活躍できるような社会の実現に向けて大切な視点をもつことができていましたか。



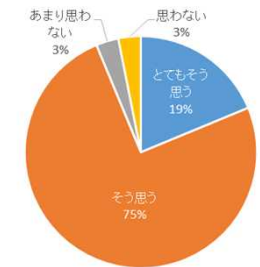
79%の教員が、生徒は、男女が共に仕事と家庭、地域における活動に参画し活躍できるような社会の実現に向けて大切な視点をもつことができていたと答えた。

9. 生徒は、課題解決をする話し合いの中で、自分の考えを他の人に積極的に伝えることができていましたか。



69%の教員が、生徒が自分の考えを他の人に積極的に伝えることができていたと答えた。

10. 生徒は、ライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができていましたか。



94%の教員が、生徒がライフプランニングのために必要な制度や仕組みについて考えることができていたと答えた。

A 高等学校

【授業1・授業2】

ワーク③ ワークI, IIを基に、あなたがライフプランニングをするために必要だと考えること

- ・自分の好きなことを生かせる仕事には、どんな職種があるのか調べておく。
- ・目標を達成するために何が必要なかを考える。
- ・計画性。
- ・やりたいことをするために必要なこと（資格など）は何か**具体的に知る**こと。
- ・自分のことだけでなく、**社会の状況も知り、判断していく**こと。
- ・やりたいことが決まったら、**そのことについて調べ、やりたいことができるようにお金を貯めておく**こと。
- ・ライフプランを考えると課題が出てくるので、それを周りの人に相談するなどして、**課題解決の方法を考える**こと。

ワーク④ 授業1, 2を振り返り、ライフプランニングについて大切だと考えることについて書く

●自分のライフプランニングをするために大切だと考えること

- ・自分のやりたいこと、意思決定に自信を持ち、**情報を手に入れるために、自分から積極的に調べる**ことが大切。
- ・プランニングするだけでなく、それを**実行しようとする意志**が大切。
- ・ライフプランニングするときには、制度など周りの助けを借りることも有効。
- ・自分が一番何がしたいのか、どうなりたいのかという**目標を明確にして、そのために必要な情報収集を続ける**こと。
- ・今のことだけでなく、**将来のことも考えて、計画を立てていく**ことが大切。
- ・やりたいことが決まったら、その**思いを消さずに挑戦し続ける**ことが大切。
- ・自分が何をしたいのか、何ができるのかをしっかりと考えて、**自分で決める**こと。
- ・流れに身を任せるのではなく、調べたり計画を立てたりすること。
- ・**チャレンジしながら、色々な経験を積む**こと。

●誰もがライフプランニングを実現できる社会のために大切だと考えること

- ・それぞれのライフプランニングを受け入れる力をもつ。
- ・様々な立場の人の視点で社会を見渡し、すべての人のライフプラン実現のために必要なものを制度などで補えるようにすること。
- ・みんなで助け合って、認め合える社会にすること。
- ・女性は育児、男性は仕事などを決めつけるのではなく、**すべてのことを平等に自由に決められる社会にすること**。
- ・一人ひとりが自分のことだけでなく、他の人のことも思いやれる社会をつくること。
- ・誰もが**他の人の考えを尊重し、決して自分の考えを押し付けるようなことをしない**こと。
- ・困っている人がいたら助け、皆が助け合うことができる世の中をつくること。
- ・新しくできた職業や、少数派の人に対して、個性であることを認め、理解の姿勢を示すこと。

【体験活動（インタビュー）】

ワーク③ その人のライフプランを表す3つのキーワードとそれを説明する具体的な内容（インタビューした結果をもとに考える）

- ・『**努力**』高校時代にスマホなどで調べながら、独学で服の勉強をした。
- ・『**情熱**』今もこれからも、情熱を持って接客の仕事をしている。
- ・『**方向転換**』勉強を頑張るために高校にいたが、学校やSNSがきっかけで勉強より服が好きになった。
- ・『**日々勉強し続ける**』大人になっても学び続けている。
- ・『**お金の流れを考える**』お金を増やしていくことが将来の選択肢を増やすことにもつながる。
- ・『**本でスキルを磨く**』色々な人（作者）の知識や経験を詰め込んだものが本なので、それを読むことで、知識やスキルを増やしてきた。
- ・『**物事に常に疑問を持つ**』頭を常に働かせる習慣を持つ。
- ・『**勉強時間を確保する**』基礎基本を身につけることが大切。
- ・『**話し相手**』自分だけで問題解決するのではなく、友人知人に相談して決めたり、話したりすることでリラックスして過ごすことができる。
- ・『**健康**』健康だからこそ、色々なことに挑戦できた。
- ・『**両立**』寝る暇もなく頑張っていた。
- ・『**諦める**』努力ではカバーしきれないこともある（身長制限など）ので、諦めて他のことに挑戦する。
- ・『**やりたいことを追求**』大学進学という選択肢もあった中で、やりたいことのために専門学校に進学。
- ・『**何とかかなるだろう精神**』何が起きても何とかかなると思って、あわてない。

ワーク④ インタビューして、共感したところや、自分の考えとは違っておもしろいと思ったことについて

- ・会社で働いていたのに、途中で大学に進学したり、中途採用で転職したりして、できないから諦めたというわけではなく、**自分のやりたいことをするためにどんどん違う道に進んでいく**ところが自分とは違うと思った。
- ・学ぶのは、**今だけでなく、大人になっても必要なのだ**と分かった。
- ・人との助け合いや支え合いはどんな場面でも必要。
- ・『**働ける間は働き、プライベートでは後悔しないように楽しむ!**』という姿勢に共感しました。
- ・自分のためではなく、人のために役に立ちたいという考え方が良いと思った。
- ・高校3年間きっちり部活をして、それから切り替えて、受験勉強を完璧にできたのがすごいと思った。
- ・転職は、**また1からやり直しをしなければならず、大変で良いことはない**と思っていたが、**今までしてきたことを生かして成長できるものだと感じた**。
- ・自分にはまだ「お金を稼ぎたい」などの強い意志はないと感じた。
- ・自分の夢を叶えて、自分のために生活してきたところに共感した。
- ・**大好きなサッカーを仕事にできなくても、違う形で続けていて、すごい**と思った。
- ・やりたいことをやるというのが大事だということが分かった。
- ・体が動かなくなるまで働きたいと思うのはすごいと思った。**定年になっても働きたいと思うほど今の仕事に誇りを持っている**と感じた。

B 高等学校

【授業1・授業2】

ワーク③ ワークⅠ,Ⅱを基に,あなたがライフプランニングをするために必要だと考えること

- ・情報を集める。
- ・**目標を達成するための道筋を考える。**
- ・困難を想定し,それに対してどうするか**事前にいくつか考えておく。**
- ・周りの環境を整えること。
- ・自分の興味をもったことを経験しておくこと。
- ・自分が知らない分野について体験したり知識を身に着けたりして,**道を広げておくこと。**
- ・相談したり,様々な人とコミュニケーションをとったりすること。
- ・多くの情報を得られるようにする。
- ・勉強時間を増やす。
- ・**10年,20年先のことを考えておく。**
- ・**今からでは遅いなどと思わず,色々なことに挑戦する強い意志や勇気を持つ。**

ワーク④ 授業1,2を振り返り,ライフプランニングについて大切だと考えることについて書く

- 自分のライフプランニングをするために大切だと考えること
- ・自分がどうなりたいかを**しっかり考える**。そして,そのライフプランを叶えるためには,どのような制度が利用できるのかなど,情報を集める。**周りの支援や,助言も大切だと思う。**
- ・まずどのようにしたいか,という目標を決め,**それに進むにあたって起こるであろう問題の対策を先に考えておくこと,自分の考えだけでなく,色々な人の話を聞いて広い視野で考えること。**
- ・日本に今どんな制度・支援。設備があり,自分がどのような状況に置かれているのかを**しっかり把握して,使用できるものは有効に活用して目標に近づく**ことが大切。
- ・将来やりたいことを積極的に考えること。
- ・ライフプランニングをするときには課題が必ず生まれてしまうことが分かったので,それを**解決する方法を考えることが大切。**
- 誰もがライフプランニングを実現できる社会のために大切だと考えること
- ・**お互いがそれぞれの生き方を認め,支援できるようにする。個人の夢を否定するのではなく,寄り添う社会をつくる。**
- ・色々な生き方に合った支援制度が必要。
- ・**男,女はこうあるべき,こういうものだという固定観念をなくしていくこと。**
- ・自分のやりたいことを相手に伝え,相手もそれを理解し,互いに折り合いをつけて行動すること。
- ・性別による役割分担意識が根付いているので,**社会の意識を変える**こと。
- ・**性別によって役割などが決められることがおかしいということをより多くの人たちに理解してもらうことが大切。**
- ・人と関わるときに**相手の意見,価値観を尊重する。**
- ・自分の考えと他人の考えがすべて一致することはないので,**多様な考え方やライフプランを認め合い,助け合えるようにしていくことが大切**だと思いました。
- ・コミュニケーションをとって,理解し合い,協力することが大切。

【体験活動（インタビュー）】

ワーク③ その人のライフプランを表す3つのキーワードとそれを説明する具体的な内容（インタビューした結果をもとに考える）

- ・『**本**』おもしろい本に出会ったことが,英語を学びきっかけになった。
- ・『**残るものをつくる**』広告代理店で作ったものは,すぐに壊れてしまうから残るものをつくりたいという思い。
- ・『**思い切った決断**』夢のために思い切った決断をすることが大切。
- ・『**憧れ**』目標にしている人と同じ仕事につきたいという思い。
- ・『**他者のすすめ**』人の勧めをきっかけにその道について考えた。
- ・『**自分の好きなことをする**』好きなことをするのは大きな原動力になるし,長く続けられる。
- ・『**人に頼る**』つらいときや困ったときは迷わず人を頼る。人の話を聞くことも大切。
- ・『**繰り返し**』最初はできなくても繰り返すことで確実にできることは増える。
- ・『**人の支え**』つらいときに頑張れたのは,周りの人に支えられたからこそ。
- ・『**生涯現役**』定年後も働き続けようと考えている。
- ・『**向上心**』常に自分を成長させようとしながら人生を送っている。
- ・『**適職**』絶対にしたくない仕事はしない。自分が向いているものを探す。
- ・『**精神的な余裕を持つ**』楽観的に,ポジティブに物事を捉えて,何度でも立ち上られるような成人状態が大切。
- ・『**専門性**』一つのことの特化して,自分が深めたい学問に取り組む。

ワーク④ インタビューして,共感したところや,自分の考えとは違っておもしろいと思ったことについて

- ・一冊の本に出会ったことで,英語の先生になったということがおもしろいと思った。
- ・『**形に残るものをつくりたい**』というの**はとても共感できた**。広島を出るというのは,自分とは違っておもしろかった。
- ・自分がやりたいこと,好きなことにまっすぐな生き方で,とてもいいなと思いました。自分の仕事を好きになれるのは,やりがいも感じられていいなと思いました。
- ・**どのように社会に貢献するか,という考え方は私に似ていました。**
- ・状況が変わってもいつも努力をしていた。
- ・定年後も社会に貢献しようとしている姿勢を見習いたい。
- ・**目標は変わるものだから,柔軟に対応することが大切**と言っていたこと。
- ・自分を高め続けるためには,努力を惜しまないという考え方がすごいと感じた。
- ・**趣味が大事,というのは今まであまり意識していなかった**ので,いい発見**と思った**。楽観的に考えつつ,意思を強く持つとうとする姿勢がすごい。
- ・自分は,やろうと思ったことをあまり行動に移すことはできないが,やりたいと思ったことをきちんと将来も考えながら行動に移していて,自分と違っておもしろいな**思った**。
- ・**子供が生まれた後,職場復帰するかしないかで福利厚生が変わってくるので,それも考えなければいけない**と感じた。
- ・私よりもずっと広い視野で物事を捉えている**と思った**。
- ・長い間仕事をするために,自分の健康に影響が出たり,体が限界になったりするまで追いつかない。

C 高等学校

【授業1・授業2】

ワーク③ ワークI, IIを基に, あなたがライフプランニングをするために必要だと考えること

- ・将来のために, **具体的な希望や計画**を持つ。
- ・自分で具体的に考えて行動すること。
- ・まずは, **現状を把握**する。
- ・目指すところに行くために, 何が欠けていて, そのためにはどんな選択をしたらいいのかを考えること。
- ・具体的に調べたり計画を立てたりすること。
- ・自分のやりたいことを主張して, **周りからの理解を得る**こと。
- ・**優先順位を決めて判断**する。
- ・自分のやりたいことを見つける。
- ・自分で考え, **周りの人にも相談したり**, 協力をお願いしたりする。
- ・自分のライフプランを実現させた場合に, 自分の人生がどのようになると思うか, 具体的に想像してみる。

ワーク④ 授業1, 2を振り返り, ライフプランニングについて大切だと考えることについて書く

●自分のライフプランニングをするために大切だと考えること

- ・自分のやりたいことを決め, **課題を考えて, 自分に合った道や支援制度を見つける**。
- ・自分のやりたいことを実現させるために, **何が必要かどんな知識があるのかを調べて行動する**。
- ・周りのサポートがあって自分の人生が成り立っていることも忘れない。
- ・やりたいことをやるために, 何が必要なのかを知り, 周りの人の意見も聞く。
- ・**今までの固定観念にとらわれず, 周りの人の話を聞いたり, 制度を調べたりして, 自分が向かうべき道を見つける**。
- ・自分で考えるだけでなく, **色々な情報を集めて知る**こと。
- ・具体的なライフプランにするために, 周りの人の意見も聞く。
- ・**周りの人と同じようにするのはなく, 自分に一番合うライフプランを自分で考える**こと。
- ・自分で意思決定をすること。

●誰もがライフプランニングを実現できる社会のために大切だと考えること

- ・**固定観念を捨てて, お互い助け合おうとする**こと。
- ・みんなが人に対して思いやりを持って助け合うこと。
- ・**それぞれの考えを尊重し合っ**て, すべての人が制度や支援を受けやすくする。
- ・**みんなが自分は一人だと思わない社会をつくること**。協力し合っ
- て周りの人とさえ合うことが大切。
- ・社会がその人を支えてあげたり, 応援したりすることが大切なので, そのための制度や支援を作ること, それを誰もが利用できる環境を作ることが必要。
- ・**ほかの人のことを知ろうとする, 理解しようとする**ことが大切。
- ・固定観念を捨てて, 誰もが自分のやりたいと思うことを実現できる社会にすること。
- ・**〇〇すべき, という考えに縛られないようにする**。

【体験活動 (インタビュー)】

ワーク③ その人のライフプランを表す3つのキーワードとそれを説明する具体的な内容 (インタビューした結果をもとに考える)

- ・『**まず挑戦**』サラリーマンを辞めて, 自営業になるという挑戦をしている。
- ・『**学んだことを生かす**』社会に出てから, 高校や大学で学んだことを生かすという気持ちで働く。
- ・『**家族だけでなく他人のために**』家では家族のため, 職場では他人のために働く。
- ・『**就職**』とても大切なこと。後悔のないようにしっかり考えて決める。
- ・『**夢を持つ**』あることをきっかけに夢を持つようになった。きっかけが大切。
- ・『**人の命を救う**』おばあちゃんが運ばれるのを自分が見て救いたいという気持ちが強くなった。
- ・『**仕事が好き**』好きだからずっと続けたいと思っている。
- ・『**人生60年**』今は, 人生100年時代だが, いつ死んでもよいように準備しようと思っている。
- ・『**常に全力**』勉強や部活に一切手を抜けず, 全力で頑張り続けている。
- ・『**人**』たくさんの人に出会うことで, 色々なことに興味をもち, 進路が変化した。
- ・『**興味**』その時々
- の興味で進みたい道を見直す。
- ・『**スキルアップ**』勉強と実践を繰り返してスキルアップをしている。
- ・『**育成**』自分の成長だけでなく, 後進が育つようにも考えている。
- ・『**山あり谷あり**』事故にあったことをきっかけに自分の夢を見つけ, そこにやりがいを感じている。
- ・『**向上心**』そのままの自分を維持するのではなく, 常に前向きに何事にも挑戦している。

ワーク④ インタビューして, 共感したところや, 自分の考えとは違っておもしろいと思ったことについて

- ・**社会人になってもやりたいことに挑戦**してすごいなと思った。職業を変えるなど, **大人になっても夢を見る**ということができてすごい。
- ・これまで学んだことを, 「**自分のために**」だけでなく「**他人のために**」生かすことを考えていた。
- ・何かの「**きっかけ**」によって, **夢が生まれる**。人の役に立つという仕事への興味は自分と同じだった。
- ・好きなことが仕事にできるのはやっぱりよいと思った。
- ・今はたくさん頑張っておいて, 後から自分のやりたいことをやろうと考えている考え方に共感。
- ・「**幸せ=自分の人生に満足できている**」という考え方が好き。
- ・その時の状況に合わせて, **柔軟に進み方を変えていくのは良い**と思った。
- ・人の命に関わる仕事なので大変だが, 人の命を助けることにやりがいを感じていると言っていたので, **あいまいな気持ちで仕事をしてはいけない**と思った。
- ・好きなことを仕事にするとずっと続けていくことができよ
- うと感じた。
- ・高校を出てすぐに就職をしたことは自分の考えと違うが, **色々な考え方がある**と感じた。

D 高等学校

【授業1・授業2】

ワーク③ ワークⅠ、Ⅱを基に、あなたがライフプランニングをするために必要だと考えること

- ・課題を見つけて、その課題に取り組むために必要なことを考える。
- ・ライフプランの意味をしっかりと理解して、自分のやりたいことを決める。
- ・好きな仕事をするために、勉強や資格取得などを計画的に行う。
- ・目標を自分で決めること。
- ・今の自分の状況を把握し、適切に情報収集をする。
- ・自分が成りたい職業について、しっかりと考え、色々な知識を持つ。
- ・ライフプランを考えるだけでなく、課題と解決策も考える。
- ・やりたいことを思い描くだけでなく、具体的に行動する。
- ・課題を具体的に示して、ひとつひとつなくしていくこと。
- ・一人だけで生活が成り立つわけではないので、家族や地域についても考えるべき。

ワーク④ 授業1, 2を振り返り、ライフプランニングについて大切だと考えることについて書く

●自分のライフプランニングをするために大切だと考えること

- ・色々な支援制度を調べて、その制度や支援を活用することが大切だと思う。
- ・目標を決め、自分が努力するだけでなく、課題がある場合には、制度や支援を利用したり、周りの人に相談したりして、様々な課題解決方法を考える。
- ・やりたいことに沿って、色々な細かいことを計画していくとよい。
- ・諦めずに、実現できる方法を探してみる。夢を見るのではなく、制度などを調べて、できることを現実的に考える。
- ・自分がどうしたいか自分で決めて、その途中で行き詰まったら、支援を活用したり、人に相談したりすること。
- ・自分のやりたいことを整理して課題を見つけ、それを解決するための制度や支援を見つける。自分だけで解決しようとするのではなく、他の人に相談する。
- ・目標や課題に対して、様々な情報収集したうえで判断すること。
- ・**周りの人の価値観や考えを参考にしながら、自分の意志で判断決定すること。**

●誰もがライフプランニングを実現できる社会のために大切だと考えること

- ・色々な人々が支え合い、ライフプランを認め合うことが大切。
- ・社会の中で男女の差や男女差別がなくなること。
- ・みんなで助け合って、認め合える社会にすること。
- ・制度や支援を見つけやすく、受けやすい環境づくりをすること。
- ・**女性が育児をするのが当たり前ではなく、男性でも育児がしやすく、育児することが当たり前前に捉えられる社会に変える。**
- ・ほかの人のライフプランを尊重し、お互いに応援し合えるような考え方を浸透させる。
- ・誰でも相談できる、相談しやすい環境や社会をつくること。
- ・自分の価値観を相手に押し付けないようにすること。
- ・男性だから、女性だから、という考えをなくす。
- ・男女関係なく、自分がやりたいことができる環境を作ること。

【体験活動（インタビュー）】

ワーク③ その人のライフプランを表す3つのキーワードとそれを説明する具体的な内容（インタビューした結果をもとに考える）

- ・『**目標**』目標をもつ意味に気付き、生活が変わった。
- ・『**ポジティブ**』常に前向きに考える。
- ・『**人付き合い**』人にしたことは自分に返ってくるという気持ちで人に接する。
- ・『**勉強**』何か一つでも好きなことを勉強し続けておく、大人になっても学ぶことはたくさんある。学ぶことが楽しいと思えるように少しずつでも続けることが大切。
- ・『**好きなことを仕事に**』焦らずにゆっくりよく考えて仕事を選ぶ。
- ・『**10年後**』目先のことだけでなく、先のことを具体的に決めて行動する。
- ・『**今よりももっと**』現状に満足するのではなく、ライフワークバランスなど常に考えながら行動する。
- ・『**努力**』自分の進路を考えて、コツコツと努力する。
- ・『**家族**』家族を持ったことで、働く理由が「趣味」から違うものになった。
- ・『**挑戦**』受験・資格取得などその時々で色々なものに挑戦してきた。
- ・『**安定性**』挑戦を繰り返すために、生活の基盤を安定させる。
- ・『**成長**』挑戦する中で失敗もするが、その努力の過程で成長してきた。
- ・『**やりたいこと**』仕事にやりがいを感じるからこそ続けることができた。
- ・『**模索**』常に自分探しをして、生きる意味を考える。
- ・『**ボランティア**』仕事をするだけでなく、猫を保護するというボランティアも生活の一部と考える。
- ・『**負けない**』自分の弱い心を律する。

ワーク④ インタビューして、共感したところや、自分の考えとは違っておもしろいと思ったことについて

- ・家族を支えられるようになりたいという思いに共感した。
- ・自分の人生を楽しむことと、やりたい仕事を両立させていて、おもしろかった。
- ・勉強も大切だが、**人を大切にすることに一番重きを置いているという考え方に、驚いた。**
- ・やりたいことを決めてそのために勉強する方が、やる気につながるの良かった。
- ・自分と違って、視野を広く持って深く考えていた。
- ・自分の稼いだお金でほしいものを買ったり生活をしたりしたいという意欲があった。
- ・部下や人を育てることが楽しいという考えがおもしろいと思った。
- ・**知った地域で安定した生活をしたいというところは、共感したが、生活を安定させたらうえて、挑戦したいという考えは自分にはなく、自分も挑戦しようと思った。**
- ・海外移住をしたいという夢に向かって努力したところに共感した。
- ・人の役に立つ仕事がしくて、その仕事にやりがいと感じていることに共感した。
- ・**生きる意味を探し続けるということに共感した。**
- ・**思い通りにいかないことも多いが、毎日頑張って生きるという言葉で、これからの自分の人生も大変なことがあるなど覚悟した。**
- ・「目標」ではなく、「**高い目標**」を持って挑戦し続けていくことにすごいと思った。

A 高等学校

●プログラムに関する意見

- ・ **内容や資料が多いが、その分生徒の状況に応じて各校で工夫して授業を実施できるプログラムだと感じた。**
- ・ ストーリーシートの読み取りについては、グラフの表面的な数値の読み取りに終始する生徒と、ストーリーとグラフ合わせて、現状とその背景にまで思い至る生徒と、読解力により差が生まれていた。読解が難しい生徒のサポートのためにも、グループやクラスでのストーリーシートの内容共有は、有効である。
- ・ コロナ禍での対応により、意見交換が十分にできなかったのが残念であったが、記入したワークシートの交換などの工夫で補うことができた。グループワークができなくても、インタビュー動画が様々なライフプランを知るために大変効果的であった。
- ・ **インタビューシートのキーワードを書かせるワークは良かった。インタビューする相手から、よく話を聞き、自分なりに内容をまとめることができていた。**
- ・ インタビューシートにインタビューをした人の氏名は記入させないなど、プライバシーへの配慮が必要と感じた。
- ・ 昨年度よりもスムーズに進めることができた分、**男女共同参画の視点や多様な生き方の尊重などに生徒をいざなっていくためのファシリテーション力が教員に求められていると感じた。**指導案通りに実施するだけでは理念は伝わらないので、授業者がこの内容について、研修などを通じて深く理解することが重要と感じた。
- ・ 友人のインタビューのワークシートを読んだり、話を聞いたりした後の（この度は回し読みのみであったが）振り返りを書くところがあるとよいと感じた。

C 高等学校

●プログラムに関する意見

- ・ ストーリーシートや動画が複数種類あるのは非常に良いが、選択肢が多いため、選ぶのが難しい。
- ・ **Gさんについては、生徒にとって課題が明確ではなかったので、ライフプランや解決策をイメージすることが難しかった様子だった。**
- ・ **ジグソー法は効果的であったが、現状を考えると実施方法には工夫が必要であった。**
- ・ 2時間で実施するには、情報が多かった。本校の生徒にとっては、資料ではなく、映像から得られる情報を多くして、話合いの時間を多くとることができるとよかった。
- ・ JamBoardであらかじめ作ったフォーマットに記入させ、内容を全体で共有させたことが、思考する時間をとることにつながり、より深く考えることができるのではないかと感じた。
- ・ 事前アンケートを活用するなどして、意見の交換を行うことで多様な価値観について気付くことができた。事前アンケートの結果をもっと生かして、男女共同参画についての授業を進めることもできると感じた。
- ・ 読解力が必要な資料であったため、読解力の強化など、他教科との連携が必要であった。
- ・ 映像教材とスライド教材により、授業のねらいを達成することができた。自分のライフプランについて考える良いきっかけとなり、以降の時間で具体的に考えるとこれまで以上に考えられるのではないかと感じた。
- ・ **インタビューシートを共有したことにより、多様性の理解が深まったり、男女共同参画の意識が高まったりしていた。**
- ・ 事後共有時の活動での、シートへの線引きは、意図が分からない生徒がいた。
- ・ インタビューシートに「自分のライフプランに参考になったこと」を入れるとよいのではないかと感じた。
- ・ インタビューシートの内容が授業で**共有されることの承諾**を得られるようにした方がよい。
- ・ インタビューシート共有の授業時間は、50分はあった方がよい。

B 高等学校

●プログラムに関する意見

- ・ 本授業の内容やグループワークは学習しやすく、理解を深めるものであった。実際に生徒一人ひとりのライフプランを作成させる授業をどのように展開していけばよいかということまで、このプログラムをきっかけに授業展開を考えられるとよい。
- ・ 家庭科で通常提示する「私らしい生き方」では協力や共助について伝え、内容が多いことから、その内容とは相反するものであるため、自分のやりたいことに向かって進んでいくという内容については、扱いが難しいと感じたが、インタビュー映像で山平さんが「人に求められる自分である必要がある」という内容を伝えてくれたため、非常に良かった。
- ・ Googleスライドを使っているグループワークは、生徒がこのような活動に慣れてきていることもあり、意見の集約や共同編集についてもスムーズに進み、他教科と連動した能力育成にもつながっていると感じた。
- ・ インタビューについては、キーワードを記入・共有する機会があったことで、**ライフプランだけでなく、ライフプランを選択するきっかけや、その根拠となることも人によって異なることに気付くことができていた。**
- ・ 社会の現状（国際化、withコロナなど）を踏まえ、生徒にライフプランニングを伝えていくための指導も、これまで以上に検討が必要と感じた。

D 高等学校

●プログラムに関する意見

- ・ 卒業後の進路が多様な高校生にとって、とても良い授業であった。
- ・ グループ内で共有するだけでなく、グループワーク後の発表の時間にも時間を取り、生徒の発表内容をおさえる時間を持つことができると効果的であったが、時間が足りずそこまでは至らなかった。
- ・ 家庭総合と総合的な探究の時間を活用する4単位で実施する授業にできると、余裕を持って授業することができると感じた。
- ・ **他者のインタビュー結果を聞く活動については、身近な人のライフプランということで、興味をもち、意欲的に授業に参加する生徒が多く見られた。**
- ・ インタビュー結果をグループやクラスで共有することに抵抗を感じた生徒もいたようなので、**インタビューについての説明などの際にあらかじめ個人が特定できるような内容を記入しないよう注意するように伝えるなどの工夫が必要だ**と感じた。
- ・ インタビュー内容の共有については、様々なインタビュー結果を見ることができるとよいと感じた。
- ・ すべてのワークで、生徒発表後の教員のコメントが、考えを深めるきっかけになると感じたので、ガイドの内容が参考になると感じた。